

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	1年	教科／科目	地理総合	時間数	2
1学期					
単元名	地図とGISの活用/自然環境と生活文化/生活圏の諸課題			使用教材	
単元の概要	地図やGIS(地理情報システム)などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する。			『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』(二宮書店) 『詳解現代地図』(二宮書店)	
評価規準				単元内容	
究	A3 各単元の教科的な内容を表現・説明できる。	B3 各単元の教科的な内容を統合しながら深めることができる。	C3 各単元の教科的な内容をもとにクリエイティブに考えることができる。	第1章 地図とGISの活用 1節 球面上の世界 4節 日常生活のさまざまな地図 第2章 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化 1 地球上の地形のなちたち 2 山地と平野の生活 3 海岸部の生活 第4章 生活圏の諸課題	
活	A2 各単元の教科的な内容の意味を理解している。	B2 各単元の教科的な内容どうしを結び付けられる。	C2 各単元の教科的な内容をもとにクリティカルに考えることができる。		
礎	A1 各単元の教科的な内容を知っている。	B1 各単元の教科的な内容の意味を一般化できる。	C1 各単元の教科的な内容をもとにロジカルに考えることができる。	〈留意点・評価〉 《B列に関する留意点》 地球上で生じているさまざまな現象に興味をもち、「なぜ」そのような現象がそこで生じるのか疑問を抱き、考察することが、地理学習の根幹であり、目指すところである。 《評価》 ・PBL型授業をはじめとして、数多くのグループ活動を通してC列の評価をする。 ・A、B列は、C列の活動を通じて主体的に学び、定期試験において評価をする。 ・中間試験は行わない。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	1年	教科／科目	地理総合	時間数	2
2学期					
単元名	生活文化の多様性と国際理解			使用教材	
単元の概要	世界の人々の生活文化が、自然環境や産業、グローバル化とどのように関わって形成され、変化してきたかを学習する。また、世界各地の特徴を学び、多文化理解を深める。			『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』(二宮書店) 『詳解現代地図』(二宮書店)	
評価規準				単元内容	
究	A3 各単元の教科的な内容を表現・説明できる。	B3 各単元の教科的な内容を統合しながら深めることができる。	C3 各単元の教科的な内容をもとにクリエイティブに考えることができる。	第2章 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化(4以降) 2節 産業の発展と生活文化 3節 言語・宗教と生活文化 4節 グローバル化の進展と生活文化	
	活	A2 各単元の教科的な内容の意味を理解している。	B2 各単元の教科的な内容どうしを結び付けられる。		
礎	A1 各単元の教科的な内容を知っている。	B1 各単元の教科的な内容の意味を一般化できる。	C1 各単元の教科的な内容をもとにロジカルに考えることができる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	《B列に関する留意点》 地表上で生じているさまざまな現象に興味をもち、「なぜ」そのような現象がそこで生じるのか疑問を抱き、考察することが、地理学習の根幹であり、目指すところである。 《評価》 ・PBL型授業をはじめとして、数多くのグループ活動を通してC列の評価をする。 ・A、B列は、C列の活動を通じて主体的に学び、定期試験において評価をする。 ・中間試験は行わない。	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	1年	教科／科目	地理総合	時間数	2
3学期					
単元名	地球的課題と国際協力			使用教材	
単元の概要	さまざまな地球的課題への取り組みについて考察する。			『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』(二宮書店) 『詳解現代地図』(二宮書店)	
評価規準			単元内容		
究	A3 各単元の教科的な内容を表現・説明できる。	B3 各単元の教科的な内容を統合しながら深めることができる。	C3 各単元の教科的な内容をもとにクリエイティブに考えることができる。	第3章 地球的課題と国際協力 1節 人口・食料問題 2節 居住・都市問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 地球環境問題	
活	A2 各単元の教科的な内容の意味を理解している。	B2 各単元の教科的な内容どうしを結び付けられる。	C2 各単元の教科的な内容をもとにクリティカルに考えることができる。		
礎	A1 各単元の教科的な内容を知っている。	B1 各単元の教科的な内容の意味を一般化できる。	C1 各単元の教科的な内容をもとにロジカルに考えることができる。	〈留意点・評価〉 《B列に関する留意点》 地球上で生じているさまざまな現象に興味をもち、「なぜ」そのような現象がそこで生じるのか疑問を抱き、考察することが、地理学習の根幹であり、目指すところである。 《評価》 ・PBL型授業をはじめとして、数多くのグループ活動を通してC列の評価をする。 ・A、B列は、C列の活動を通じて主体的に学び、定期試験において評価をする。 ・中間試験は行わない。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		